

第96回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成21年6月16日(火)

11:00	第96回総務委員会	鉄鋼会館 806
14:00	経産省ヒアリング	経産省会議室
15:30	業界紙記者と懇談	事務局

2. 第96回総務委員会

出席者

吉里 勉 (総務委員長)
高木 建 (理事長)
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)
林 光雄 (副理事長・東海支部長)
永吉明彦 (副理事長・大阪支部長)
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)
柘野 (事務局)

議 題

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 第34期通常総会の収支報告について
- (3) 中小企業緊急雇用安定助成金の教育訓練制度の活用について
- (4) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の開催について
- (5) 鋼板流通統計調査の速報化について
- (6) その他

経 過

議事に先立ち、初出席の林光雄委員(東海支部長)より、挨拶が行われた。引き続き、吉里委員長の司会により議事が進められた。

(1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について

事務局より標記資料について説明、一部内容修正の上了承された。

(資料は別項参照)

(2) 第 3 4 期通常総会の収支報告について

事務局より、去る 5 月 26 日に開催された総会の収支報告が行われ、了承された。

(3) 中小企業緊急雇用安定助成金の教育訓練制度の活用について

公的資金の有効活用の一環として、合同教育訓練のメニュー案が提示され、検討が行われた。その結果、①今回のメニュー提示は大変参考になる。②技術的見地からまとめているので、これに営業サイドの意見を加味する必要がある。③助成金の申請受付窓口の考えが地域によってかなり違うようだ。情報を集める必要がある。④1社ではコスト面で対応が難しい点があるので、組合メンバーが合同で実施すれば経費節減につながる。⑤東京支部がモデルを作成し、それを全国展開したらどうか、等の意見が出された。

今回提示された原案の取り扱いは、東京支部「労務部会」等の意見も取り入れながら、検討し、当組合としての教育訓練メニューを取りまとめることとなった。

(4) 「熱切断作業の品質と安全講習会」の開催について

事務局より、当組合と日本溶接協会の共催で開催している標記講習会が下記日程により開催される予定である旨報告があり、了承された。

- ・日時：平成 21 年 8 月 28 日（金） 10：00～16：30
 - ・場所：(財) 東京都中小企業振興公社 3 階 第一会議室
東京都千代田区神田佐久間町 1-9
 - ・定員：80 名
 - ・受講料：主催・後援団体 8,000 円（テキスト、昼食代含む）
- ※本件の詳細は、別紙およびHPをご参照ください。

(5) 鋼板流通統計調査の速報化について

月次調査「鋼版流通踏査」は毎月、月末に集計して公表しているが、厚中板の需給動向が行政官庁やメーカーサイドからも注目されていることから、できるだけ早期に回収・集計する必要性が生じている。このため、調査票の回収を 15 日から 10 日に早めて、毎月 20 日頃に速報値（厚中板合計の受入・出荷・在庫）として集計し関係先に周知することとなった。

3. 経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

石川鉄鋼課長、葛岡課長補佐、鈴木係長、他

厚板シヤ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、林東海支部長、
永吉大阪支部長、木村九州支部長、吉里理事・総務委員長
柘野（事務局）

経 過

最初に高木理事長より、足元の情勢について概略説明があった後、各支部長よりそれぞれ支部の需要動向について報告が行われた。引き続き石川鉄鋼課長より、「厚板は在庫調整が最優先となっており、あとは需要待ちの構図ではあるが、なかなか底が見えない。7～9月の需要見通しは自動車、公共土木、輸出がプラス要因、ユーザー在庫の戻しも加わって粗鋼生産は前期比増と見込んでいる。しかし産建機は全く底が見えず、特に建設機械は史上最低の状況だ。今や厚板は悪い方の品種に入ってしまった。当局としては今後とも在庫支援や資金繰り面の支援を促進していくので、ご相談いただきたい。」との挨拶があり、その後、種々意見交換が行われた。

以上